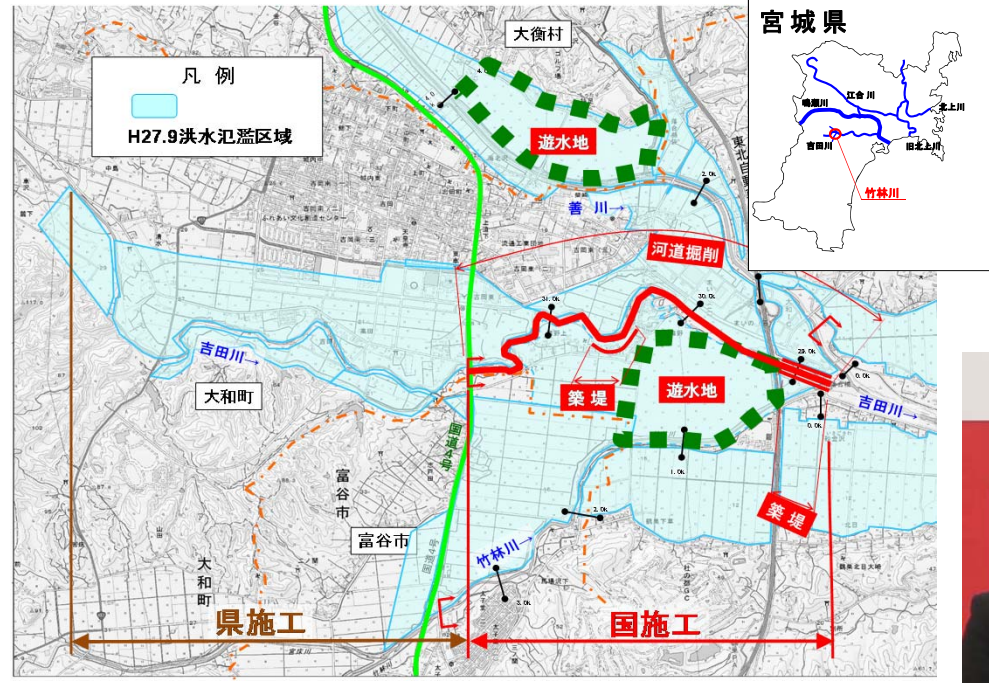


# 竹林川舞野地区遊水地築堤工事起工式（開催）

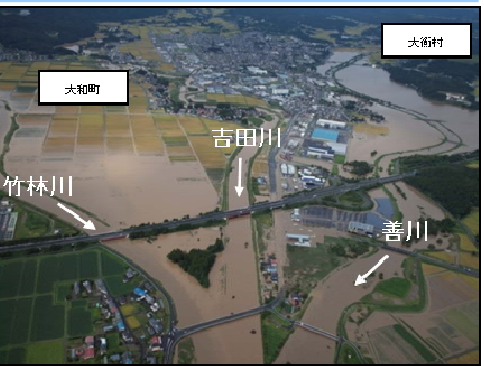
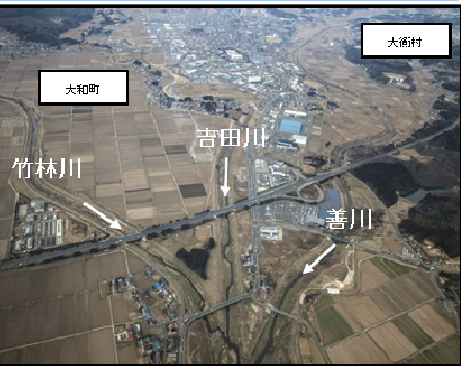
- 竹林川舞野地区において、遊水地築堤工事が起工することから、平成31年2月23日（土）に起工式を開催。
- 国土交通省と宮城県が主体となる浸水対策事業の推進により、吉田川上流部の家屋浸水被害の解消など、地域住民が安心・安全な暮らしができる環境整備を実施することで、スピード感をもって取り組んでいることの社会認識向上を図る。



▲ 洞突き式の様子

平常時（2016年3月13日撮影）

関東・東北豪雨（2015年9月11日撮影）



▲ 洞突き式後の記念撮影の様子

竹林川舞野地区において、遊水地築堤工事を起工することから式典を開催。

# 挨拶 「竹林川舞野地区遊水地築堤工事 起工式」

いとう しんたろう

## ◆ 伊藤 信太郎 衆議院議員 挨拶

- 集中豪雨などが起きる頻度も増してきているので、1日も早い工事の完成、1日も早い安全なこの地域の復興をして参りたいと思います。  
大和町はもとより、近隣の市町村に対しても安心感をあたえる重要な工事だと思っておりますので、国交省、宮城県、市町村、地域の方々と力を合わせて一連の工事が早く進捗し、安全な地域となるよう祈念申し上げます。



あいち じろう

## ◆ 愛知 治郎 参議院議員 挨拶

- 30年来環境問題に取り組んできており、地球温暖化による気候変動は科学的証明がされていないところでありますが、手遅れになる前に、政治的な判断、リーダーシップを持って先手を打って進めていかなければなりません。この事業においては、国会議員一同力を合わせて支援を行い、事業を進めて参りたいと思います。地域の安全の構築のためには各関係各位の皆様のご協力が必要不可欠なのでこれからも多大なるお力添えをお願い致します。



わだ まさむね

## ◆ 和田 政宗 参議院議員 挨拶

- 地域をインフラで守っていくことと共にソフト面の強化も併せて行っていかなければならないと思っており、避難情報や遊水地に越流する可能性があるなどの情報について、防災無線や個別受信機を使用し、確実に一人一人に伝わるような状況にならなければならないと思っております。  
災害において被害がなく人の命をなくしてしまうことのないように行政と一体になって事業を進めていきたいと考えておりますので、今後ともご協力をお願い致します。



あさの はじめ

## ◆ 浅野 元 大和町長 挨拶

- 吉田川の築堤、掘削や竹林川遊水地、善川遊水地の整備を行うことで、広いエリアの安全・安心が確保できると期待しております。  
貴重な用地を提供いただいた地区の皆様にあらためて感謝申し上げます。  
安心・安全が吉田川流域沿岸、沿川の住民、大和町民の願いであると共に町づくりの重要な施策なので、本工事の安全な実施と早期完成をご祈念申し上げます。



たかはし まさのり

## ◆ 高橋 政則 北上川下流河川事務所長 挨拶

- 吉田川流域においては、過去より度重なる水害に見舞われており、特に昭和61年8月の大洪水は地域に甚大な被害をもたらし、さらに平成27年9月の洪水では、多くの家屋浸水などの甚大な被害を及ぼすこととなりました。  
昨年7月の西日本豪雨のような雨がいつ、どこで降っても不思議ではない状況の中で、災害から地域の皆様の命と暮らしを守ることができるよう、防災、減災の対策を強力に推進して参ります。



あさの かつさぶろう

## ◆ 浅野 勝三郎 用地提供者代表 挨拶

- 平成27年9月の豪雨の際、舞野地区は吉田川から越水した水が地区民ほとんどの家屋に押し寄せ、濁流の凄まじさに身の危険を感じました。水が引いた後で泥水により重くなった畳や、浸水により動かなくなった農機具などを目の当たりにし、途方に暮れる状況となったものであります。本工事が安全に行われ、1日も早い完成と、国交省と大和町による環境整備が舞野地区民にとってよりよい方向になることと併せて、災害なく安全で安心して暮らせる町として大和町がますます発展することを願っております。

